

令和4年度 足立区立学校国際コミュニケーション科に係る自己評価書兼学校関係者評価書

学校名 足立区新田学園
 学校長名 土肥 和久
 評価団体名 新田学園開かれた学校づくり協議会

<p>学校教育目標</p>	<p>地域を愛し、学ぶ意欲に溢れ、国際社会において未来を切り拓く心豊かな児童・生徒を育成する。 ・自ら学ぶ人 ・共に生きる人 ・健やかでたくましい人</p>	<p>目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像等</p>	<p>【目指す学校像】 ○確かな学力の定着を図る学校（基礎基本の定着）○心と体を育てる学校（行事や諸活動を通して心と体力を育成）○開かれた学校（地域との連携） 【目指す児童・生徒像】 ○自ら学ぶ人 ○共に生きる人 ○健やかでたくましい人 【目指す教師像】 ○基礎・基本の定着を目指す熱意と指導力のある教師 ○児童・生徒とともに汗を流し、喜びや悲しみを分かち合う教師 ○校長の経営方針の下、組織的に、連携して課題に取り組める教職員</p>
<p>前年度までの成果・課題</p>	<p>【前年度までの成果】全体的に落ち着いて学習に取り組むことができた。前年度は行動の制限があったものの、児童生徒のよさを生かし、思考力・判断力の向上が図られる活動を重点的に取り組んだ。 【前年度までの課題】小中一貫教育校のよさを児童・生徒に体感させる学校行事や学年の活動など、やり方について計画を再考する必要がある。</p>		

学習内容	具体的な取り組み	自己評価	来年度に向けた改善策	学校関係者評価
<p>英語によるコミュニケーション能力を高める学習</p>	<p>「英語で遊ぼう」（1～2年生） ・英語のゲームやクイズを通じて、先生や友達とコミュニケーションを図る。「welcome to Tokyo」（3～4年生） ・テーマごとの話題(観光名所・先端技術、ユニークな文化、伝統芸能など)の紹介などに関する情報を英語で聞いて、友人と話したり教員とやり取りをする。 「Tokyo Global Gateway」（5～8年生） ・TGGのプログラムを通じて、英語によるコミュニケーションを図る。 「My Story Bookを作ろう」（6年） ・小学校での英語学習を生かして、自分紹介のプレゼンテーションをする。 「修学旅行で外国人へインタビュー」（9年生） ・英語で外国人とのコミュニケーションを図る。</p>	<p>（4年生）英語によるコミュニケーション力を高める学習の達成率：肯定88.6%／否定11.4% ・友達や先生に英語で紹介しようとする力が身に付いた。 ・プレゼンテーションやスピーチなど、英語の発表を聞いて内容を理解・推測する力が身に付いた。 （6年生）英語によるコミュニケーション力を高める学習の達成率：肯定95.9%／否定4.2% ・TGGで外国の方と英語を使ったコミュニケーションを深めようとする力が身に付いた。 ・TGGで学んだことや感想を友達や先生、下級生に英語で紹介しようとする力が身に付いた。 （9年生）英語によるコミュニケーション力を高める学習の達成率：肯定94.9%／否定5.1% ・テーマごとの話題の紹介などを英語で聞いて、友達や先生とやりとりしようとする力が身に付いた。 ・修学旅行などで外国の方と英語を使ったコミュニケーションを深めようとする力が身に付いた。</p>	<p>4年生のアンケートでは、英語によるコミュニケーション力を高める学習の達成に対して、否定的回答が11.4%だった。苦手意識をもつ児童も英語に親しみ、達成感を得られる学習活動を取り入れていく。 6年生では、TGGを通して学ぶ活動と、My Story Bookを作成して伝える活動を取り入れ、肯定的な回答が多かった。特に体験的な学習のTGGに対して肯定的であった。一方で、My Story Bookで伝えることには苦手意識をもつ児童がやや多かった。伝えることに対して苦手意識をもつ児童も英語に親しめるようにしていく。 9年生では、英語でのスピーチに慣れ、肯定的な回答の割合が高かった。中学校から英語の教科学習が本格的になり、英語で伝えることへの抵抗感が低くなったと考えられる。</p>	<p>児童・生徒の良さを生かせる英語活動を進めてほしい。 コロナも落ち着き、友達と英語でかかわる機会を増やしてほしい。</p>
<p>国際理解を深める学習</p>	<p>「オリパラレガシー学習～日本の伝統文化である落語に触れよう」（3～9年生） ・日本独自の文化を知ることにより、自国の特性について説明できる素地を養う。 「SDGsでアクションプラン！（私たちにできることを考えよう！）」（4～6年生） ・世界情勢に興味をもち、関心を高めたり、理解を深めたりする。 「留学生との交流」（7～8年生） ・自国の文化や異文化に対する興味・関心を高めたり、理解を深めたりする。</p>	<p>（4年生）国際理解を高める学習の達成率：肯定93.5%／否定6.5% ・SDGsの17の目標について調べ、自身の生活で改善できることを考え実践しようとする力が身に付いた。 ・日本の伝統文化（書き初め）体験を通して、自国の伝統のすばらしさに気付き、伝承しようとする力が身に付いた。 （6年生）国際理解を高める学習の達成率：肯定95.4%／否定4.7% ・SDGsを達成するため、自身にできることを考え、実践しようとする力が身に付いた。 ・ナミビアの小学校との交流を通して、海外の文化や関わりについて理解する力が身に付いた。 （9年生）国際理解を高める学習の達成率：肯定97.1%／否定2.9% ・日本の伝統文化（書き初め）に触れ、それらを育ててきた自国と郷土について考える力が身に付いた。 ・② 京都・奈良の歴史についての理解を深めたり、自国と他国の文化を比較して違いを認めたりする力が身に付いた。</p>	<p>伝統文化体験が十分に行えず、SDGsについて調べる学習を中心に、達成度を振り返った。高い割合で肯定的回答が得られた。次年度は伝統文化体験を計画的に取り入れていく。 6年生では、SDGsの取り組みに対する具体的な行動を考え、国際理解を深められた。また、ナミビア現地校の小学生と交流することで、海外の文化や関わりに関心をもつことができた。次年度も多様な国籍の人との交流の機会をもてるよう計画していく。 9年生では、どの項目でも高い割合で肯定的回答を得られた。学習内容が、自国の文化に対してのものに偏りがあるので、国際的な関わりについての学習内容を取り入れていく。</p>	<p>地域人材や地の利を生かす教育活動に期待する。</p>
<p>自らの生き方を考える学習</p>	<p>「情報機器に慣れよう」（3～4年生） ・コンピュータの使い方や情報を処理する。「夢デザインシート」（1～9年生） 「伝えよう 鑑南自然教室」（5年生） 「伝えよう 日光自然教室」（6年生） 「My Story Bookを作って表現しよう」（6年生） ・課題を決めて調べる方法やまとめる方法について考え、見直しをもって調べる。 ・調べたことや活動内容をまとめる。 「自然と触れ合おう（魚沼）」（7年生） 「職場体験・上級学校調べ」（8年） 「自らの進路を切り開こう」（8～9年） 「学校の諸行事を最高学年としてやり遂げよう」（9年生） ・キャリア（進路）ガイダンスを機に自らの卒業後の進路について真剣に考える。</p>	<p>（4年生）生き方を考える学習の達成率：肯定93.9%／否定6.1% ・夢デザインシートへの取り組みを通して、1期のリーダーとしての気持ちを高め、下級生のお手本になれるよう努力しようとする力が身に付いたか。 ・タブレットやインターネットの正しい使い方を知り、話し合いや発表、調べ学習などに積極的に利用しようとする力が身に付いたか。 （6年生）生き方を考える学習の達成率：肯定96.3%／否定3.7% ・日光自然教室や体育祭などの諸行事を最後までやりとげようとする力が身に付いた。 ・自分の生き方をふり返って「My Story Book」を作り、9年生に発表したり、相手からの質問にできる限り具体的に答えたりする力が身に付いた。 （9年生）生き方を考える学習の達成率：肯定97.8%／否定2.2% ・進路や職業について調べながら、卒業後の実現に向けて探究しようとする力が身に付いた。 ・体育祭などの諸行事を最後までやり遂げようとする力が身に付いた。</p>	<p>4年生では、1期のリーダーとしての自覚をもち、よりよい生活を送ろうとする意識が高められた。また、情報機器の扱いにも慣れ、積極的に活用することができていた。 6年生では、行事への取り組みに対しては肯定的回答の割合が特に高く、積極的に学習に取り組み、自己の課題をもって学ぶことができた。My Story Bookを使って9年生と交流する場面では、より英語を用いた交流ができるよう、事前指導の工夫をしていく。 9年生では、新田学園の最高学年として、意欲的に学習に取り組む生徒が多く、肯定的回答の割合が高かった。次年度への課題は、3つの領域での学習内容に重なりが多いので、育成する力を意識して、学習内容を精選していく。</p>	<p>行事ができるようになったことが嬉しい。学習や活動の確保に可能な限り協力していく。</p>